

《各県コーナー》

# 大分県の平成24年災害の取組について

……………大分県土木建築部河川課

## 1. 大分県の概況（地形、気候）

大分県は九州の北東部に位置し、東西119km、南北106km、総面積6,340km<sup>2</sup>は全国の1.7%にあたります。

地形的には、広大な火山地域、深い山地や谷、変化に富んだ海岸線に恵まれて、阿蘇くじゅう国立公園、瀬戸内海国立公園などを始めとして国定公園や県立自然公園等の自然公園地域は県総面積の約28%にも達しており、地質的には中央構造線により南北に分かれ、古いものから色々な時代の地層が揃い、火成作用、変成作用、地殻変動を受けたことにより多様な地質分布を示しています。この複雑な地質と多様な地形が美しく豊かな自然に恵まれた「豊の国 大分」を生み出しています。

また、最近では、「日本一のおんせん県おおいたの味力も満載」をキャッチフレーズに県内外に観光等のPRを始めています。

## 2. 災害発生状況

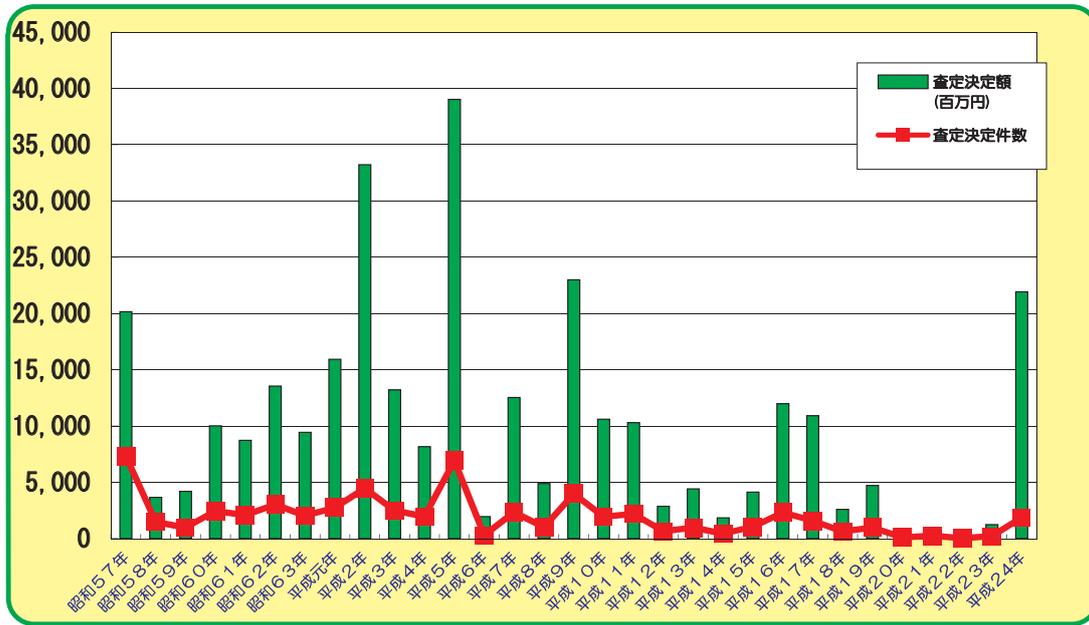
九州は一般的に温暖多雨ですが、本県は山地が海岸に迫っているため気候は複雑で、大きく4つの気候区に区分されます。降雨は6月から7月の梅雨期、夏から秋にかけての台風期に多く、集中豪雨により著しい被害を受けることがあります。

近年では昭和57年、平成2年、5年、9年、24年に大きな水害が発生しており、特に平成24年には6回の降雨により1,874件、21,990百万円の大きな災害に見舞われました。



《各県コーナー》

大分県災害復旧事業の推移 (S57~H24)



3. 平成24年発生災害について

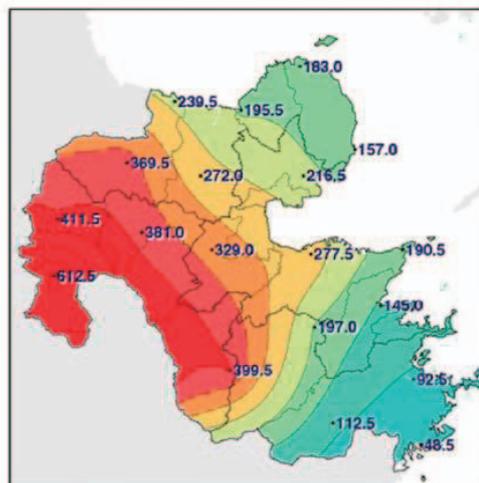
平成24年6月30日から7月14日にかけて、朝鮮半島から九州北部付近に停滞した梅雨前線の影響により、大分、福岡、熊本の3県を中心に記録的な豪雨となりました。

7月3日から4日にかけて、県の北部・西部を中心に大きな被害が発生。また、7月11日から14日の豪雨は、気象庁の発表で「これまでに経験したことのないような大雨」と表現され、県の北部・西部・中部を中心に大きな被害が発生し、後に「平成24年7月九州北部豪雨」と命名されました。

今回の記録的な豪雨により、県北部の中津市や県西部の日田市では、二度の洪水により大きな被害を受けたほか、熊本県阿蘇地方に隣接する竹田市では、平成2年以来の大災害となりました。

県内各地で河川の氾濫や土砂災害が相次ぎ、中津市、日田市、竹田市、玖珠町など県全体で、死者・行方不明者4名、住家の全・半壊など316棟、床上・床下浸水は2,500棟を超えたほか、河川1,033箇所、砂防設備221箇所など、公共土木施設にも甚大な被害が発生しました。

地点名	総雨量 (mm)
中津	239.5
耶馬溪 (中津市)	369.5
日田	411.5
椿ヶ鼻 (日田市)	612.5
玖珠	381.0
湯布院	329.0
竹田	399.5



アメダス総雨量の分布図 (7月12日~14日)

(大分地方気象台「災害時気象資料」より)

《各県コーナー》

4. 復旧・復興推進計画の策定と人的支援

被災後1カ月が経過した8月には、「大分県水害対策会議」において、「復旧・復興推進計画」を策定し、災害時応援協定に基づき、長崎、宮崎、鹿児島 の3県から土木技術職員3名を派遣していただいたほか、本庁各課・室及び被災地以外の土木事務所等から延べ74人の土木技術職員を被害の大きかった中津・日田・玖珠・竹田の4つの土木事務所へ応援派遣しました。

県工事については、翌年（H25）の梅雨時期（6月末）までに概ね70%の復旧が図られるよう目標を定め、毎月の進捗管理を行い、道路に関する復旧は86%、河川に関する復旧は68%、砂防に関する復旧は61%の箇所 で完成となりました。

5. 災害復旧事業及び災害関連事業の採択

平成24年の大分県内における被災状況は、梅雨前線豪雨及び三つの台風による計6度の異常気象により、県・市町村の公共土木施設1,876箇所の被害に対し、8月20日から12月12日まで11次67班に及ぶ災害査定が実施され、1,874箇所、219億9千万円余りの決定を頂きました。

さらに、今回被害の大きかった、県北部の中津市及び玖珠町で5件〔河川3件、砂防1件、橋梁1件（地域関連を含む）〕、県南西部の竹田市においても7件〔河川6件、橋梁1件〕の災害関連事業が採択されました。

災害関連事業採択箇所

〔単位：百万円〕

事業主体	工種	施設名	場 所	全体事業費	備 考
大分県	河川	山国川	中津市耶馬溪町大島	222	掘削、護岸
	河川	春田川	中津市山国町中摩	186	掘削、護岸
	河川	春田川	中津市山国町中摩～玖珠町古後	514	掘削、護岸、床固、橋梁
	砂防	春田川	玖珠町古後	886	掘削、護岸、床固、橋梁
	河川	玉来川	竹田市川床（1）～（3）	848	掘削、護岸
	河川	滝水川	竹田市荻町南河内（1）～（3）	816	掘削、護岸
中津市	橋梁	柳ヶ平橋	中津市耶馬溪町大島	148	橋長 L=82.6m 幅員 W=4.0m
日田市	橋梁	稻荷橋	竹田市拝田原	223	橋長 L=49.2m 幅員 W=5.0m

地域関連事業箇所〔山国川（柳ヶ平橋付近）出水写真（H24.7.3）〕



（出水後）



## 《各県コーナー》



地域関連事業箇所〔山国川（柳ヶ平橋付近）被災写真（H24.7.5）〕

## 6. 河川激甚災害対策特別緊急事業の採択

今回の豪雨により、筑後川水系花月川及び有田川では、観測史上最高の水位を記録する洪水が発生し、7月3日の洪水では835戸の家屋が浸水する甚大な被害が発生しました。

県管理区間の有田川については、浸水被害の大

きかった下流L=7.1km区間において、直轄管理の花月川と一体的に河川激甚災害対策特別緊急事業が採択され、今後は、築堤や河道掘削による河道断面の拡大及び橋梁や堰等のネック構造物の改築により、浸水被害の防止・軽減に向け流下能力の向上を図っていくこととしています。

《各県コーナー》

河川激甚災害対策特別緊急事業



※1 実施主体：九州地方整備局  
 ※2 実施主体：大分県

花月川・有田川浸水戸数等

H24.7.3出水	花月川・有田川
浸水面積(ha)	179.4
全壊戸数(戸)	1
半壊戸数(戸)	1
床上浸水(戸)	475
床下浸水(戸)	358
合計(戸)	835

※浸水戸数には、内水による被害を含む。  
 ※浸水戸数は国土交通省・大分県による調査結果。

【花月川（実施主体：九州地方整備局）】  
 事業内容：河道掘削、築堤、護岸、樋管、堰改築、橋梁改築等  
 全体事業費：91億円  
 事業期間：H24～概ね5年間

【有田川（実施主体：大分県）】  
 事業内容：河道掘削、築堤、護岸、橋梁改築、堰改築等  
 全体事業費：10億円  
 事業期間：H24～概ね5年間

7. おわりに

今回、被災直後の情報収集、仮設資材の提供、応急復旧に対する助言など国土交通省をはじめ、関係機関のご支援・ご協力に深く感謝する次第です。さらに、大規模被災箇所や災害関連事業の工法検討や事業採択における事前打合せから事業実施にあたり国土交通省、財務省両省をはじめ関係機関、関係者の方々から多岐に渡るご指導、ご援

助を賜りました。ここに改めて厚く御礼申し上げます。

今後も被災地の復旧・復興を加速させ、関係部署との連携はもとより、国や被災市町と協力しながら、災害に強い県土づくりの実現に向けた取り組みを推進してまいりますので、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。